



阿部はるまさは、この5年6ヶ月の間、平日の毎朝、市内駅頭で市政報告を続けています。活動姿を見ましたらぜひお声がけください。

住民第一主義

阿部はるさ

がめざす重点政策

保育・医療の支援で
子育てに希望を

24時間・365日
安心の介護を

連絡先

〒270-0161 流山市鱚ヶ崎 1479-31

FAX 04-7140-7605

H P : www.abeharumasa.jp

Mail : abe@union.email.ne.jp

阿部はるまさ 検索

議会で取り組みました

■子育て・教育の充実を

保育所や学童クラブに加えて小中学校の教室・校舎不足。子どもや保護者に犠牲を押しつけず、早急な増設と指導員や教員の確保、保育と教育の質のアップを。学力低下・健康障害をもたらす行き過ぎた ICT 教育反対。

■子どもと若者の貧困の解消を

7人に1人の子どもが貧困状態の日本、流山も例外ではありません。小中学生への就学援助の額や費目の拡大、若者の就労や生活支援の強化と充実を。

■介護・国保・生活保護などの充実を

国が進める介護の自己責任化、家族介護化の動きに対して、社会で担う介護・介護の社会化の方向をしっかりと掲げること。ヤングケアラー（若年介護者）への支援を。国保財政への支援強化し、生活保護の切り捨てに反対。

■障がい児・者の社会参加を

障がい児・者への差別や排除、分離主義教育にはきっぱりと反対。障がいを個性として受けとめ、誰もが分け隔てなくともに生きる保育・教育と社会づくりを。

■LGBTへの理解を

日本人の13人に1人がLGBT（性的マイノリティー）。人間の性はもともと多様性に満ちていることを前提にした、学校や職場や社会での仕組みづくりを。

■放射能対策と自然エネルギー普及を

次々とウソが明らかになる放射能安心キャンペーンを許さず、子どもの甲状腺エコー検査の実施を。流山市も、原発ゼロ、東海第2原発再稼働反対、自然エネルギー普及の具体的施策を。

■安上がり委託やめ公共サービス充実を

公共サービスの安上がり委託や非正規市職員の拡大は、官製ワーキングプアを増やし、地域を疲弊させるだけ。人間らしい労働条件の確保で公共サービスの充実を。

■教育の流山に必要な阿部さん

おおたかの森高校 元校長 皆川眞一郎



流山で高校の校長を務めた数年
間、市の教育実践とその成果に助け
られ、思う存分に学校改革ができた。
県内随一の教育市である流山の
発展を願うとともに、この間、良
き相談相手となってくれた阿部さん
の活動を熱烈に応援しています。

■市議会になくてもならない人

千葉県議会議員 小宮清子

私と二人三脚で流山のために頑張ってきた阿部さん。卓越した行動力と政治への情熱、理路整然と語る力の持ち主。引き続きその力を市政に活かして下さい。流山市議会になくてもならない阿部さんを、よろしくお願い致します。



■平和と格差解消のためともに

参院選比例予定候補（沖縄県議） 仲村 みお



阿部さんは辺野古新基地建設のため千葉県から沖縄に機動隊が派遣されたとき、県警への抗議の先頭に立ちました。木更津駐屯地がオスプレイの基地にされようとしていることに、社民党国民運動局長として反対運動を進めています。平和運動になくてはならない人です。

■阿部治正さんはこんな人

- 1954 年 愛媛県今治市に生まれ。
- 1975 年 働く者の権利と労働条件向上のため労働組合作りに取組む。
- 1980 年 障がい者の人たちの自立生活運動に参加。
- 2011 年 4 月に市議に初当選。現在2期目。

阿部はるまさ 流山市議会 社民党
流山市政報告 号外 2019年3月1日

流山を子育て・福祉・環境の先進都市に 格差を生まないまちづくりと元気な地域経済を

阿部はるまさ
流山市政報告
号外 2019年3月1日

●市民はお客でなく市政の主役

■「市民はお客」は市民を軽んじた言葉。「市民が主役」の立場で議員も行政もまちづくりを。

■外国人、LGBT、障がい者などの社会的少数者を排除せず、多文化が共生する豊かでいきいきとしたまちを。

■ごまかしの「地方分権」でなく、権限と財源の移譲による「地域主権」を。



●安心・安全、便利なまちに

■震災と風水害の両方をみすえた万全の災害対策を。江戸川の氾濫や市内河川の浸水対策を。

■グリーンバスの路線拡大・便数の拡充、流鉄の新たな役割づくり、自転車道の整備など、どこに住んでいても不便のない交通ネットワークを。

■犯罪の社会的背景に目を向け、犯罪ゼロのまちを。

●「福祉先進都市・流山」を



■介護保険の財源は国と企業の役割の強化で解決し、利用者の立場に立った、社会全体で担う介護を。

■医療と介護の連携強化を。
■誰もが気軽に立ち寄れる福祉相談の場を増やし、相

談の場における十分な人材確保を。

●子どもたちの瞳に輝きを

■児童虐待根絶のため、児童相談所の増設、専門の相談員増員、虐待根絶の強い意欲と知見を持った専門職員の配置を。

■巨大規模校化が生む矛盾への万全の対策を。新設校・新設予定校と既存校の教育環境の格差の解消を。

■子どもを災害・犯罪から守るため、老朽化した学校の補修・建て直しを迅速に。

■子育てに格差を生む保育の市場化に反対。病児・病後児・障がい児などのニーズに応える体制を。



●みどりあふれる憩いのまちを

■TX沿線開発は、地域全体のバランス、自然・住環境・流山の独自の魅力を活かす視点を大切に。

■「市野谷の森」などのみどりの保全、「利根運河」「坂川」などの親水公園化をはじめ、歩いて行ける場所に「憩いの場」を。



■大型施設など環境に大きな影響を与える計画は、市民の事前の同意を必要とする規制を。

●いのちとみどりの地域経済を

■地場産業やみどり（農業・環境・再生エネルギー等）

といのち（医療・福祉・教育等）重視の地域経済、NPOや協同組合などへの支援を強め、経済活力あふれるまちづくりを。

■若者・高齢者・障がい者の仕事相談充実、安定雇用で格差と貧困拡大に歯止めを。



●行財政改革に市民の目線を

■行政サービス切り捨てのための民間活用、危機感なき漫然とした財政運営をともにいましめ、財政の徹底した透明化を。

■入札は、価格だけでなく、働く人々の労働条件、障がい者への雇用、男女共同参画、自然環境保護などへの貢献度の評価に基づく「公契約条例」で。

●真剣な放射能汚染対策を

■環境と食品中の放射線量の精密な測定、8000ベクレル/kgを超えた指定廃棄物の徹底した安全管理を。

■放射能被害を隠すための非科学的な安心・安全キャンペーンは直ちに中止を。放射能リテラシーの向上を。

●地域から平和の発信を

■「平和都市宣言」にもとづき、戦争に向かう国・地域づくりを許さない取り組みを。

■憲法を守り、活かすため、市民・議会・市が共同の取り組みを。

